

星屑

7月号 vol:173

★清和直前クイズ。

88星座のうち何個の星座を知っていますか？

ベルセウス座・とけい座・エリダヌス座・レチクル座・おうし座・ちょうこくぐ座・かじき座・オリオン座・うさぎ座・がが座・きりん座・はと座・ぎょしゃ座
おおいぬ座・ふたご座・いっかくじゅう座・正座・こいぬ座・とも座・とびうお座
やまねご座・ご座・かに座・りゅうこつ座・らしんばん座・ほ座・ポンプ座
ろくぶんぎ座・こじし座・しし座・うみへび座・おおぐま座・コップ座・からす座
みなみじゅうじ座・はえ座・やく座・かみのけ座・りょうけん座・おとめ座
ケンタウルス座・うしかい座・コンパス座・おおかみ座・てんびん座・へび座・
かんむり座・こぐま座・みなみのさんかく座・じょうぎ座・さそり座・りゅう座
さいだん座・へびつかい座・ヘルクレス座・みなみのかんむり座・たて座・こと座
いて座・ほうえんきょう座・くじゃく座・わし座・や座・こぎつね座・はくちょう座
いるか座・やぎ座・けんびきょう座・こうま座・インディアン座・ケフェウス座
オペラ座・みなみのうお座・みずがめ座・つる座・とかげ座・ペガサス座
きよしちょう座・うお座・ちょうこくしつ座・ぎょう座・アンドロメダ座
カシオペア座・ほうおう座・くじら座・さんかく座・みずへび座・ろ座・おひつじ座
テーブル山座・カメレオン座・野生のエル座・ふうちょう座・はちぶんぎ座・

今年も清和が待っている

1989, 07, **

天文イベント家 = 星見世太郎

昨日

早くも7月の声を聞き、背後からS君の催促の聲に追われながら、それでも平静を装っている私だが、実は溜池の鴨のように、水面下では相当にせわしく足をバタつかせていた。

今日

「星空へのパスポート」(89年版)の校正が終わり、Tシャツのデザインも決定した。オークション用の望遠鏡類もおおたそろった。

昨年はなかったような仕掛も少し織り込んで、将来への楽しみも出始めている。

後は、具体的なイベント内容の詰めと担当者の決定、旗の製作や、VTRの編集、スライドの確認などと参加呼びかけの徹底、といった作業が待っているわけだが、これには強力な「助っ人」達がいるので、私は大船に乗った気分。

心はずでに清和の夏の豪快な星空に飛んでいる。

土星の輪、天の川、ペルセウスの流れ星、どれをとっても「日頃の都会ではちょっと楽しめないもの」だし、それに天王星、海王星(=いま太陽系で最も速くにあ

る惑星)も待っているのだから、うきうきしない方がおかし。

はるばる長崎から駆けつけてくれる「とみた」の大ドブソニアンは、その後改造されているのかな?

昨年はとても慌ただしくて、ゆっくり触る暇さえ無かったが、今年はじっくり撫で回し、その見え味を楽しみたいと思っている。

清和の子供達も待っているし、「だご汁」も「とうきび」も、支援のスタッフも待っている。

スタッフとして参加するのも楽しいし、お客さんでも楽しめる、おそろいの「Tシャツ」などを着込んでさっそうと会場を歩き回って、大いに星仲間を増やそうでは有りませんか。

さあ!今年も清和が待っている!!

あなたも、ぜひ清和へどうぞ。



イベント

なんと言っても、最大のイベントは矢部アナウンサーの生語りによる星座物語だが、今年は大力作「銀河鉄道の夜」他になる予定。いま、博物館のプラネでもやっているのでぜひ観ておいて戴きたい。

当日は、ひと味もふた味も違った熱演が聞けるし見れるので、これは見逃す訳には行かない。

今年も矢部絹子さんのファンが、大勢生まれることだろう。私も、「矢部ファン」の一人としてこの星座物語が、一つの星の楽しみ方として定着することを期待している。



PASSPORT
STAR-LA!
(IMUTAN)



星散光
This Passport is valid for
STARLAND SERWA (IMUTA HILAND)
STARS FALL ON SERWA '89.

パスポート

今年の天文台・草川の日、私の目つきが異常だった
そう、デザイナーの池永さんが、積極的にイベント
用のいろんなデザインを製作して下さることになった。

日頃プラネのスライドの絵でしかお目にかかれぬ
池永さんの作品だが、(失礼、熊本の大イベントのポ
スターに、池永さんの作品が大量に使われていること
を、つい先日知りました・・・)、今年は「星空への
パスポート」、Tシャツなど、あちこちに池永さんの
温もりを感じていただけることと思います。

この雑文の中にも、早速使用させて頂いているので、
「おっ、今年は何か違うぞ!」と、その雰囲気を感じ
とって、清和へ大勢の人が参加してくれば、池永さ
んも、私もたいへんうれしいのだが・・・

新登場

今年、初めて登場するのは、ミラーボール人工衛星
=「あじさい」。星屑には何度も登場しているが、実
物を見た人は意外と少ないのではないだろうか。

そこで、ビデオ+i・iも使い、双眼鏡を主体にし
て「あじさい観測会」をやることにした。ピッ、ピッ
ピッと光ながら飛んで行く姿を、楽しんで下さい。

「科学してるっ!」て雰囲気か、そして、まるで「ス
ターウォーズ」みたいな映像が子供達にはたまらない
魅力だと思います。

掘出し物の「星グッズ」も登場予定です。

皆さん、ぜひ他の人を誘って、この夏清和へ来て下
さい。

「井無田高原でまっますよー!」



今年の清和は、お買い得 必殺？お〜くしょん

中尾富作

うっとうしい梅雨の中、皆さんは、いかがお過ごしでしょうか。
今、天文台では、第2回九州 スターフェスタ「星の降る夜 IN 清和」
”89”を、今年も大成功させるために、無い知恵を絞り出してみんな
頑張っております。さて、全国でもこういうイベントが行われておりま
すが、大抵のイベントには ○□光学 とか 覇●製作所 などなど
某有名メーカーが出てきてガラクタ市や、新製品のデモンストレーショ
ンなどを行ってイベントを盛り上げています。しかしこういうイベント
で、メーカーがわざわざ出かけてガラクタ市やデモンストレーションな
ど行っているのは、東京とその周辺の都市だけです。これでは地方の貧
乏天文少年や天文中年は、指をくわえて天○ガ☆ドやスカ★ウオ◆チャ
ー、月や天体などを読みあさるしかありません。これではイベントを行
っても、目玉商品がない。う〜〜む・・・。

私の勤めている店にも望遠鏡メーカーさんが、二人ほど出入りされて
いますが、そのうちの一人 某V社の◎◎さんに、「こんど、天文台で
またイベントやるんですけど・・・新製品のA覇クスでも持ってきて、
デモンストレーションでもやりませんか・・・いい宣伝になると思いま
すが・・・」と言うと「いくらかかると思っているんですか？」
と、あっさりかわされてしまいました。

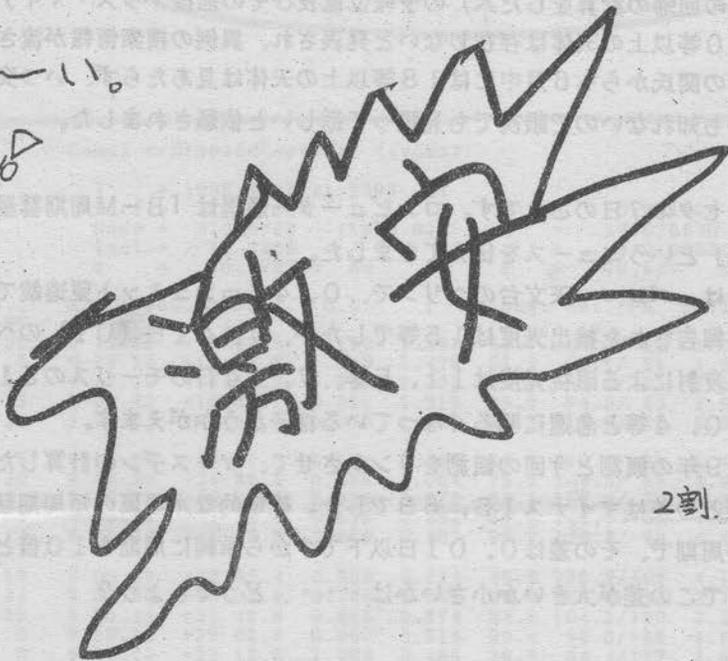
しかし、ここで引き下がる私ではなかった。くどくどくどくと、
メーカーに文句をつけながら、ようやく「OK」と言わせていたのでした。

メーカーがオークションに出す品物は、大抵キズがあつたり型落ちだ
つたりで・・・。足と架台が合わないし部品も足りない、というのが
ほとんどだそうで、その他ルーペやコンパスが大半をしめているそうで
す。自作派の人はいいとして完成品派の人は・・・。とメーカーさん
の二人が言うておりました。

それなら新品を安くしていただけるとありがたいな〜、と皆さん
もお考えのことと思います。そして、それが可能になりました。
なんと、新品（一部製品鏡筒にキズあり 見え方異常なし確認済み）を
定価の35%〜70%OFFアイピース 双眼鏡 望遠鏡一式 などなど
下は¥1000から上は¥70000ぐらいです。

7×50や10×70の双眼鏡 130mmの反射望遠鏡 などなど
尚、これは全商品メーカー品です。メーカーが分からない、とか もと
もと安い品物を、わざと定価を高くして安く売る、と、どこかのディス
カウントスーパーがやっているようなことは、いっさいありません。
いいものを安く、と副台長の髙島さんと運営委員に品物を決めていただ
きました。それでは皆さん、清和村で合いましょう。

元〜い。
もてけ



平成元年式、F7.5x30 AWD
10x70

2割、3割引きは、激安

ブルセン・メトカーフ彗星が検出された！！

この7月初めの月のない夜に検出されなければ、ロスト・コメットになってしまうと心配されたB-M周期彗星が、無事というかやっとなんとか7月4日検出されました。

この彗星の検出には、世界の大型望遠鏡も向けられて捜索が行われていました。ESO、パロマー、サイデンスプリングなどの6月の捜索でも、ヨーマンス（ハレー彗星の回帰の計算をした人）の予報位置及びその前後プラス・マイナス10日には2.0等以上の天体は存在しないと発表され、異例の捜索情報が流されました。高知の関氏からも6月中には1.8等以上の天体は見あたらず、いつ突然明るくなるかも知れないので眼視でも見張って欲しいと依頼されました。

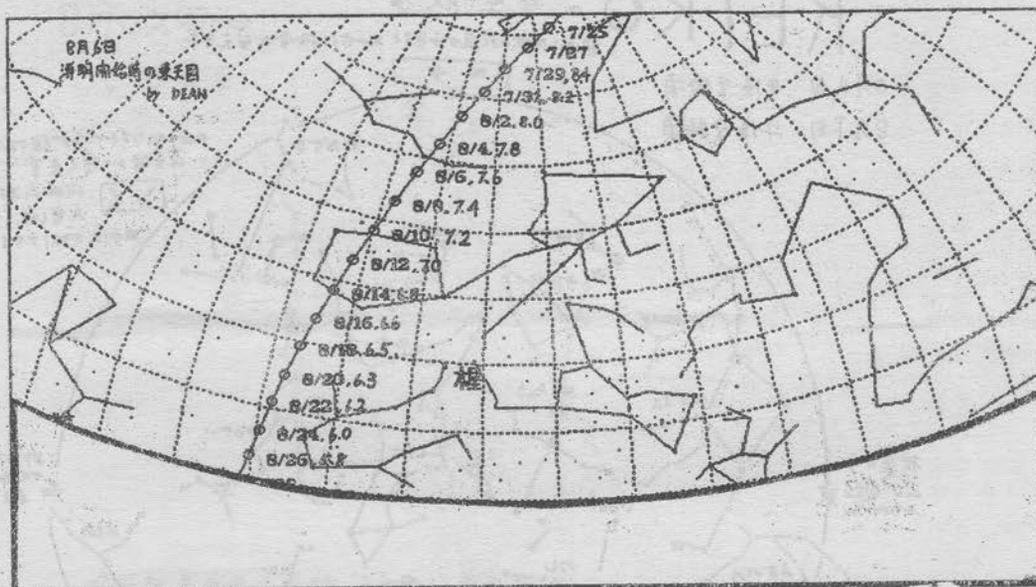
さて、七夕の7日のことです。コンピューター通信は「B-M周期彗星が1.1等で検出」というニュースを伝えてきました。

検出者は、パロマー天文台のヘリンで、0.46mシュミット望遠鏡での快挙でした。報告された検出光度は1.5等でしたが、7.41日(UT)のヘイルの41cm反射による眼視光度は1.5等、7.44日のモーリスの51cm反射では1.4等と急速に明るくなっている様子がうかがえます。

1919年の観測と今回の観測をリンクさせて、マースデンの計算した軌道では、予報との差はマイナス15.6日でした。標準的な木星属の短周期彗星は6年前後の周期で、その差は0.01日以下ですから単純に周期を10倍としても・・・、でこの差が大きいか小さいかは・・・、どうでしょう？

CCDの狭い視野にはもちろん、まともに捜すとシュミットの広い視野にも入らなかったのが真相でしょう。前2回の出現時には1.3AUより後の観測でしたが、70年後の今回も1.5AUでの検出でした。検出の望遠鏡をしりめに、地球に接近する天体を捜索する目的のカメラの視野に入るとは皮肉なものです。

観測条件は最高に近い出現です。5-6日の清和でも確かに見えるでしょう。



Comet P/Brosen-Metcalf (1989)

A.C.A.O.

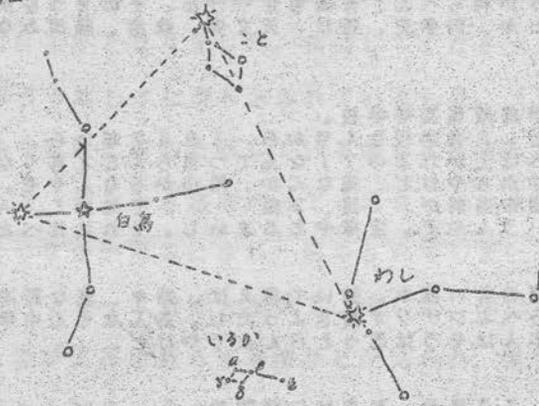
T = 1989 Sept. 11.9395 ET
 Peri. = 129.6256
 Node = 310.8761 (1950.0)
 Incl. = 19.3306
 q = 0.478748 AU
 e = 0.971970
 a = 17.079843 AU
 n° = 0.0139630
 P = 70.587 years

1989	R.A. (1950.0)	Decl.	G.D.	r	Elong.	Mot./PA	Tail/PA	h/A	Mag
4h JST	h m								mi
June 30	0 13.35	+9 02.8	1.150	1.558	91.7	58.7/ 51	1.6/246	54.5/305	12.0
July 5	0 28.90	+12 05.6	1.043	1.478	91.7	68.1/ 51	1.8/246	57.3/303	11.4
10	0 47.23	+15 37.3	0.943	1.398	90.9	80.1/ 52	2.1/247	59.9/298	10.9
15	1 09.43	+19 42.1	0.851	1.316	89.2	94.8/ 53	2.5/247	61.9/291	10.2
20	1 37.01	+24 21.2	0.770	1.233	86.2	111.9/ 55	2.9/249	62.5/280	9.6
25	2 12.06	+29 27.4	0.704	1.149	81.7	129.7/ 59	3.4/252	61.0/267	8.9
30	2 56.93	+34 36.4	0.655	1.064	75.8	144.5/ 65	3.9/257	56.8/255	8.3
Aug. 4	3 53.03	+38 59.6	0.628	0.978	68.5	152.0/ 73	4.3/265	50.2/247	7.6
9	4 58.17	+41 34.6	0.626	0.892	60.6	149.9/ 84	4.5/275	42.0/241	7.0
14	6 05.13	+41 42.0	0.650	0.807	52.7	139.8/ 95	4.4/285	33.4/238	6.5
19	7 05.62	+39 35.4	0.698	0.724	45.6	126.3/106	4.1/294	25.4/238	5.9
24	7 55.80	+36 01.5	0.768	0.645	39.6	113.6/114	3.7/300	18.4/238	5.4
29	8 36.45	+31 42.6	0.855	0.574	34.6	104.2/120	3.3/304	12.5/240	4.8
Sept. 3	9 10.10	+27 02.6	0.957	0.516	30.4	98.3/125	2.9/305	7.5/243	4.4
8	9 39.22	+22 12.5	1.068	0.485	26.8	94.4/127	2.5/305	3.0/245	4.2
13	10 05.47	+17 19.8	1.182	0.481	23.7	90.3/128	2.0/303		4.4
18	10 29.59	+12 34.1	1.294	0.507	21.0	84.8/129	1.5/299		4.9
23	10 51.78	+8 04.7	1.401	0.558	19.0	78.3/129	1.2/295		5.7

mi = 8.80 + 5 log G.D. + 10.00 log r.

8月の星座＝

いるか座



前号の夏の大きな三角形、きれいに見えましたか。

夏の大きな三角形が見つかれば、少し東の方（低い所）へ目を向けて下さい。

暗い星ばかりですが、小さなヒシ形が可愛いいるか座があります。

このいるかは、海の新様、ホセイドンが祀を絶えようとしたが、この時、アンストリーチというヤ神を説得し、連れて来ました。このおかげで星座になりました。マ、アリオンという英雄が、コンクールで優勝した帰り道、賞金目当てに命を狙われましたが、最後に願って船乗りで歌を歌いました。その歌の集積らじい沢山のいるかが集まり、アリオンが海に飛び込むと、大きないるかが、海へ入り込み、盗人達を捕まり賞金も無身に戻りました。この話に基に作られたという話もあります。

いるか座は小さな星座ですが、一度見つけると、やはり印象深い星座だと思えます。



草刈り & バーベキュー

6月11日。この日は運よく梅雨の晴れ間に当たったため、とても良い天気となり、絶好の草刈り日よりとなりました。参加して下さった皆さんの顔は「草が刈れる。！」とゆううれしさに満ちあふれていました。（もっとも、中には、「肉が食える」とゆう食欲に満ちた顔している者もありました）26名とゆう大人数が集まったことと、前々から草を刈ってくださっていた神様のおかげで、みるみるうちに草はなくなり山積みになれ、燃やされてしまいました。

その後のバーベキュー大会は大盛況で、中には、肉の奪い合いでまけて涙を流す学生や、箸と箸が火花を散らす場面などが見られ、常日頃の食生活をそのまま表現している方々も数人いたようです。

この次は、流れ星を見ながら一杯とゆうのはいかがでしょうか。

炭火でバーベキューの図です。



インフォメーション

★ 7月31日(月曜日)には、運営委員会がひらかれます。運営委員の人は忘れずに出席してください。

★ 博物館では、冷房がきいた館内で、プラネタリウム「銀河鉄道の夜」を上映中です。みんなでおしかけましょう。コーヒー・お茶などが99%の確率でついてきます。

★ 天文台の駐車場に新しくジャリがはいりました。

★ 7月29日(土曜日)、天文台で流れ星を見ませんか? やぎ座 α 群や、みずがめ座 δ 群は、ペルセウス座流星群ほど多くはありませんが、意外と多く見られます。(ペルセ群も飛びますし、プロルセン・メカトーフ彗星も見えます)詳しくは、火曜日の遅刻運営委員ことアルト新村まで。ちなみに、8月12日(土曜日)にはビール片手にペルセウス座流星群の観望という企画も考えています。

★ 熊本もついに梅雨明けしました。星見の季節の到来です。

編集後記

第7号以来、ひさびさに担当した星屑です。今回の主な話題は、清和と彗星です。ところで話は変わりますが、どなたか、いらなくなった印刷機をお持ちのかたはいらっしゃいませんか? もしも、ありましたら、御一報ください。

今回の編集には他の星屑編集委員の三上君や甲斐君や江藤君(実は私より年上なので、三上さん・甲斐さん・江藤さんと呼びしなければいけないのですが、急に変わるのも変なので、あくまでも三上君・甲斐君・江藤君と呼ばせていただきたいと思います。ごめんなさい。)から多大なる援助をいただき、本当にありがとうございました。またみんなで、バーベキューをやりましょう。

熊本県民天文台機関誌「星屑」 1989年7月号 通巻 173号

発行所 熊本県民天文台 〒861-42 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号 熊本市博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 G. P. X.